



point 3 | 湯あげ

花に元気がないときは、上部に湯気が当たらないように新聞紙で包み、茎先をお湯に20秒ほど浸けて茎の中の気泡を抜きます。そのまま水に2時間以上浸けます。



point 2 | 水切り

切り口を空気に触れさせないため、ボウルなどに水を張って水の中で茎を切ります。切った瞬間、切り口に空気の膜ができないようにすることで、吸い上げがよくなります。



point 1 | 切り口

茎が水を吸い上げる部分の面積をできるだけ大きくするため、斜めに切ります。ただし、ダリアなど球根の花はよく水を吸うので、ややまっすぐにカットします。

より美しく、
長く楽しむ
ために

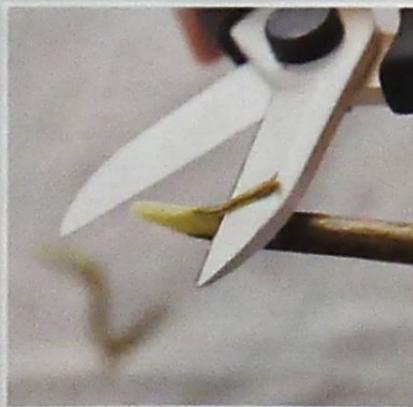
覚えておきたいポイント 6

せっかく花を飾るなら、できるだけ長く楽しみたい。
簡単な基本の処理をするだけで、買ってきた花が元気に長もちします。
花は暑さに弱いので、夏場は特にこまめに水を替えて、
水をきれいに保つことも忘れずに。



point 6 | 霧吹き

花を活ける前後や水替えの度にシュッと霧吹きをして、葉や花に水分を補います。変色しやすい花びらに直接水をかけないよう、葉の裏側から吹きかけるようにします。



point 5 | 枝の足元

枝ものは、水の吸い上げをよくするために、先を斜めにカットしたら足元の樹皮をハサミで削っておき、さらに削った先端部分から縦に割れ目を入れます。



point 4 | 下葉の処理

葉が水に浸かると雑菌が繁殖しやすくなるので、茎の下のほうの葉はあらかじめ取っておきます。ガラス器に活けるときは見た目にもすっきり美しくなります。